

4. スピリチュアルペインへの援助 自己の人生に意味・価値を見出せること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
□ 気になること、やり残していることはないか	33	71.7

判断	件数	出現率 (%)
□ 気になることややり残していることがある	20	43.5
□ 道徳・道義がある	4	8.7

ケア行動	件数	出現率 (%)
□ 家族と本人の間で、気になること、やり残していることが何か、そのような会話が出来るよう双方に働きかける	26	56.5
□ 本人の気になること、やり残していることを実現できるよう調整する	18	39.1
□ 本人、家族の楽しみとなるイベントを実行する	7	15.2
□ 宗教にあわせた関係者(神父・牧師)と会えるようセッティングする	4	8.7

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□ 家族の遺り残していることがない	26	56.5
□ 本人の遺り残していることがない	20	43.5
□ 本人・家族の楽しみとなるイベントを実行している	10	21.7

5. デスマネジメント 死にゆく人と家族が、死を要容できるようになるまでのプロセス(否認、怒り、取り引き、抑うつ、受容)を成し遂げられるようにマネジメントすること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族が急変時の対処方法について知っているか	43	93.5
<input type="checkbox"/> 今後の病状変化に対してどのような対応していきたいと考えているか(入院治療・終末期入院・在宅死)	43	93.5
<input type="checkbox"/> 利用者・家族が最終まで専門職の助けを借りて在宅療養ができると考えているか(看取りの覚悟)	43	93.5
<input type="checkbox"/> 家族は利用者の疾病、予後を理解しているか	41	89.1
<input type="checkbox"/> 家族は死を要容しているか、死に対する受け止め方(確認、支障の必要性の観察、判断)	41	89.1
<input type="checkbox"/> 家族の延命処置の希望の有無	41	89.1
<input type="checkbox"/> お別れしたい親族が呼べているか	39	84.8
<input type="checkbox"/> 家族も本人にメッセージを伝えていくか	34	73.9
<input type="checkbox"/> 本人が挨拶をした人と呼べているか	33	71.7
<input type="checkbox"/> 本人がメッセージを残しているか	29	63.0

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族の死に対する不安・恐怖	32	69.6
<input type="checkbox"/> 要容	40	87.0
<input type="checkbox"/> 取り引き	6	13.0
<input type="checkbox"/> 抑うつ	5	10.9
<input type="checkbox"/> 否認	4	8.7
<input type="checkbox"/> 怒り	1	2.2

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 死に近いことを家族に伝える	46	100.0
<input type="checkbox"/> 在宅にて看取りができるかどうか、またでできることの最後の確認をする	46	100.0
<input type="checkbox"/> 様々な現れてくる身体的精神的症状に対して、どのように対応するべきか指図する	44	95.7
<input type="checkbox"/> 家族が常にそばにいられるのは、在宅だからこそであることを伝える	43	93.5
<input type="checkbox"/> 病院へ行ってもできる処置に大きな変わりはないことを伝える	41	89.1
<input type="checkbox"/> 最後まで耳は聞こえていることを伝え、本人に伝えたいことを伝えられるよう環境を整える	41	89.1
<input type="checkbox"/> お別れをしたい親族・友人を呼ぶように家族に伝える	37	80.4

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 最期はどこで死を迎えたいか家族が自己決定できる	46	100.0
<input type="checkbox"/> 死を自然なこととして受け入れられる	44	95.7
<input type="checkbox"/> 家族から本人へメッセージを伝えることができる	36	78.3
<input type="checkbox"/> 本人から家族へメッセージが残せている	23	50.0

6. 家族・親族との関係調整 本人を中心に家族関係の変化に応じて、ケアの方向性およびどのような最後を迎えるか意識を統一すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族のケアへの参加状況	43	93.5
<input type="checkbox"/> 家族の介護への意欲	41	89.1
<input type="checkbox"/> 利用者・親族との関係を把握、キーパーソンの有無	36	78.3
<input type="checkbox"/> 利用者・家族間のコミュニケーションの状況	35	76.1
<input type="checkbox"/> 利用者・家族との関係 家族としての役割 遂行等されているか	35	76.1
<input type="checkbox"/> 利用者・家族が同じ気持ちで死に向かっているか	31	67.4
<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態	42	91.3
<input type="checkbox"/> 介護者の精神的負担	42	91.3
<input type="checkbox"/> 介護者が介護についてどこまで「自分で出来る」「専門職に頼む」と考えているのか	41	89.1
<input type="checkbox"/> 介護者の身体的負担	41	89.1
<input type="checkbox"/> 介護知識・介護指導の必要性の観察・判断	37	80.4

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族のコミュニケーション	36	78.3
<input type="checkbox"/> 家族成員としての役割遂行	32	69.6
<input type="checkbox"/> 介護知識の不足	8	17.4
<input type="checkbox"/> 介護拒否	2	4.3
<input type="checkbox"/> 介護負担感	30	65.2

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 見取りの場を家族・親族内で意見が統一できるように支援する	42	91.3
<input type="checkbox"/> 家族成員としての役割が遂行できるよう援助する	40	87.0
<input type="checkbox"/> 介護者の訴えを傾聴する	43	93.5
<input type="checkbox"/> 効果的な介護方法の指導	39	84.8
<input type="checkbox"/> 社会資源を有効活用する	25	54.3
<input type="checkbox"/> 介護者の代替を検討する	23	50.0

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人が最終まで家族の一員として役割を全うできる	40	87.0
<input type="checkbox"/> 利用者と家族が同じ気持ちで死に向かっていることができる	38	82.6
<input type="checkbox"/> 介護・処置方法を理解し、実行できる	39	84.8
<input type="checkbox"/> 肉体的精神的負担が軽減し、安定した介護ができる	39	84.8

7. 喪失・悲嘆・死別サポート 様々な現れ方をする悲嘆を死にゆく人や家族と分かち合い、新しい関係を作り出せるよう支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 死別時の状況	45	97.8
<input type="checkbox"/> 遠族の思い	45	97.8
<input type="checkbox"/> 遠族の悪い表情・音動	45	97.8
<input type="checkbox"/> 希望する衣服はあるか	42	91.3
<input type="checkbox"/> 後悔の有無	41	89.1

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族の看取りの満足感	42	91.3
<input type="checkbox"/> 家族の悲嘆	34	73.9

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族に「よくここまで頑張ってくれてありがとう」と伝える	46	100.0
<input type="checkbox"/> 死後の処置を家族とともに進める	43	93.5

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 満足した看取りができたことを遠族が感じている	43	93.5
<input type="checkbox"/> 在宅で過ごしたことの後悔の念がない	42	93.3

8. 基本的ニーズへの援助 日常生活を援助しているのに欠けている、主に身体機能を補うための援助

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 清潔の状態、保清方法の有無	41	89.1
<input type="checkbox"/> 排泄方法の確認	37	80.4
<input type="checkbox"/> 寝具交換必要性の観察判断	36	78.3
<input type="checkbox"/> 心地よいと思う状態	35	76.1

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> セルフケアの不足	31	67.4
<input type="checkbox"/> 心地よい生活の欠如	23	50.0
<input type="checkbox"/> 転倒などの危険	9	19.6

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者・家族のニーズを把握する	42	91.3
<input type="checkbox"/> 保清の援助、身体清潔のための教育	42	91.3
<input type="checkbox"/> 介護方法の教育指導	41	89.1
<input type="checkbox"/> 口腔ケア	40	87.0

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 介護者が正確なケアを実施できる	38	82.6
<input type="checkbox"/> 日常生活を心地よいと感じられる	29	63.0

タイプA:がん高齢者セミナー出席頻度(死別後) N=47

1. 喪失・悲嘆・死別サポート 様々な現れ方を示す悲嘆を死にゆく人や家族と分かち合い、新しい関係を作り出せるよう支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
□ 遺族の思い	42	91.3
□ 在宅にて過ごしていた時の家族の死に 対する受け止め方把握	41	89.1
□ 死別時の状況把握	39	84.8
□ 後悔の有無	38	82.6
□ 死後の処置は家族の希望に沿ったもの であったか	36	78.3
□ 遺族の身体的アセスメント	36	78.3
□ 生活状況のアセスメント	35	76.1
□ 死亡1か月後、1年後の家族の状況把握	34	73.9
□ 未解決の悲嘆がないか観察	32	69.6
□ 悲嘆のプロセスの把握	31	67.4
□ ケアチームとしてケースをどう捉えていたの か、チーム間での確認	28	60.9

判断	件数	出現率 (%)
□ 家族の悲嘆	5	10.9
□ 家族の後悔	19	41.3
□ 家族の喪失感	29	63.0
□ 在宅で看取ったことの満足感	41	89.1
□ 遺族の身体的問題	24	52.2
□ 遺族の精神的問題	27	58.7
□ チームとしての評価	28	60.9

ケア行動	件数	出現率 (%)
□ 在宅で看取れたのも、家族の頑張りが あったこと、よくやったことを伝える	46	97.9
□ 思いを引き出し、思いを傾聴する	44	93.8
□ 家族の後悔の部分には、一度思いを受 容し、修正をする	33	70.2
□ 死亡1か月後、1年後に家族とコンタクトを とる	30	63.8
□ 利用できる社会資源を使用する	17	36.2
□ ケアチームカンファレンスをする	18	38.3

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□ 満足のいく看取りがとれたことを遺族が 認識する	46	97.9
□ 遺族が死を乗り越え、立ち直って生活に 戻れる	40	85.1
□ 精神的・身体的に大きな異常がない	36	76.6
□ ケースを通して、ケアチーム内での意識 の統一や連携の強化ができる	19	40.4

2. 社会的援助 必要なケアが適切に提供されるように、ひと、もの、経済面等の環境づくりを支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)	ケア行動	件数	出現率 (%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□現在利用しているサービスの有無	46	95.8	□在宅における必要なサービス・本人・家族が希望するサービス	46	95.8	□在宅で必要なサービス・必要物品の選定・設置、準備を利用者の状態に合わせて実施する	42	87.5	□必要なサービス、必要物品が揃い、身の回りの環境に不自由しない	39	81.3
□ケアマネジャーの確認	41	85.4	□在宅における必要なサービス・専門職からみた必要なサービス	40	83.3	□生活環境整備	42	87.5	□連携がスムーズで、チームに対する不安がない	38	79.2
□社会資源の活用状況	41	85.4	□在宅における必要なサービス・環境衛生は保たれているか	36	75.0	□転倒の予防	41	85.4	□転倒しない	38	79.2
□室内整備の状況(居室、トイレ、食堂、廊下、玄関/室温、換気)	40	83.3	□在宅における必要なサービス・社会資源の活用が必要	30	62.5	□ケアマネジャーとの連携	41	85.4	□ケアチーム内での必要時連絡がとれる	34	70.8
□福祉機器(介子)等導入の必要性はあるか	39	81.3	□在宅における必要なサービス・金融管理者の管理能力は十分か	25	52.1	□今後の在宅療養についてサポートできる範囲を明確に提示する	35	72.9	□経済的負担を最小限にできる	30	62.5
□利用者・家族がどのようなサービスを知っているか(区・市町村、各機関のサービスなど)	38	79.2	□在宅における必要なサービス・転倒の危険性	23	47.9	□利用者・家族の個別性の高い期待に沿えるよう利用者・家族とともにケアプランを作成する	32	66.7	□ケアチーム内で必要時連絡がとれる	44	91.7
□介護する場所の確認	37	77.0	□在宅における必要なサービス・社会資源負担の増加の可能性	20	41.7	□ケアチーム及び、区・市町村窓口において利用できるサービスを有効活用する	30	62.5	□連携がスムーズで、チームに対する不安、不満がない	42	87.5
□経済・金融管理状態	36	75.0	□在宅における必要なサービス・介護認定再調査の必要性	14	29.2	□負担する金額とすり合わせしながら状態に応じたサービスを導入する	22	45.8	□主治医をだれにするのが意志を伝えることができる	39	81.3
□利用者が外出(通院)できるか	33	68.8	□チームケアの連携体制・チームの連携ができていない	41	85.4	□訪問看護師、及び医師が緊急連絡の際にすぐ訪問できる体制づくりをする	45	93.8	□緊急時に対する対応が理解でき、在宅で過ごす自信が持てる	32	66.7
□収入源、サービス利用に対する金融的負担の軽減の確認	29	60.4	□緊急時(24時間)連絡体制・緊急時の対応	41	85.4	□外来業務が負担であれば、往診医に切り替える	42	87.5			
□介護認定再調査の必要性の有無	29	60.4	□緊急時(24時間)連絡体制・必要時、入院ベッドの確保はできるか	17	35.4	□往診医の連絡・必要性の説明	40	83.3			
□家族と専門職との関係	41	85.4				□利用者・家族に24時間体制についての具体的な連絡方法を伝える	40	83.3			
□利用者、家族はケアチームにどのような期待をしているか確認	40	83.3				□利用者宅へケアノートをおく	32	66.7			
□24時間連絡相談の体制が整っているのか	40	83.3				□ケアチーム内で調整会議をする	30	62.5			
□緊急時の対応方法の理解の確認	40	83.3				□調整した内容は担当看護師及びチームで共有する	23	47.9			
□往診医の有無	39	81.3				□療養ナースまたは主治医と連携をとる	23	47.9			
□急変、突発事象の対応先の有無	39	81.3									
□ケアチームの連携状況(意思疎通の状況、情報の共有化、意思の統一)確認	37	77.1									
□ケアマネジャーを中心としたケアプランを他職種で共有しているか	36	75.0									
□家へ専門職が来ることへの抵抗感はないか	35	72.9									
□具体的なケア方法の統一ができていないか	32	66.7									
□ケア提供者の窓口の設定	30	62.5									

3. 家族・親族の関係調整 本人を中心にした家族関係の変化に応じて、ケアの方向性およびどのような最後を迎えるか意識を統一すること

アセスメント内容	件数	出現率(%)	判断	件数	出現率(%)	ケア行動	件数	出現率(%)	アウトカム(期待される成果)	件数	出現率(%)
<input type="checkbox"/> 介護負担の状況	48	100.0	<input type="checkbox"/> 家族介護力・介護体制・介護負担感	36	75.0	<input type="checkbox"/> 介護者の介護力を見極め、無理のない介護方法の把握・調整をする	46	95.8	<input type="checkbox"/> キーパーソンを中心に在宅療養ができる	45	93.8
<input type="checkbox"/> 介護者の理解力	47	97.9	<input type="checkbox"/> 家族介護力・介護体制・介護知識の不足	24	50.0	<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態をチェックする(バイタルサイン測定など)	46	95.8	<input type="checkbox"/> 介護者が在宅療養を継続できる自信がもてる	38	79.2
<input type="checkbox"/> 介護者の体力	46	95.8	<input type="checkbox"/> 家族介護力・介護体制・介護拒否	3	6.3	<input type="checkbox"/> 介護代替者の検討	43	89.6	<input type="checkbox"/> 介護負担感が軽減できる	38	79.2
<input type="checkbox"/> 介護者の介護技術	46	95.8	<input type="checkbox"/> 家族成員としての役割変化	25	52.1	<input type="checkbox"/> 傾聴した内容は担当看護師及びチームで共有する	36	75.0	<input type="checkbox"/> 本人、家族、親族内の人間関係を把握できる	41	85.4
<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態	45	93.8	<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族のコミュニケーション	9	18.8	<input type="checkbox"/> 在宅ケアを継続していくことへの思いを支援する	24	50.0	<input type="checkbox"/> 本人および家族、親族内で在宅ケアをどのように継続していくかをイメージできる	40	83.3
<input type="checkbox"/> 介護者が夜間良眠できているか	43	89.6	<input type="checkbox"/> 意思決定できているか・利用者・キーパーソンの在宅療養の意見の一致	29	60.4	<input type="checkbox"/> 利用者・家族と他の親族との関係を把握する	44	91.7			
<input type="checkbox"/> 家族・親族・近隣の協力者の具体的な介護協力	42	87.5	<input type="checkbox"/> 意思決定できているか・何も欲しくない	27	56.3	<input type="checkbox"/> 在宅で過ごすことなどのようにイメージしているのか確認する	43	89.6			
<input type="checkbox"/> 介護者の有無	40	83.3	<input type="checkbox"/> 意思決定できているか・延命処置の希望	6	12.5	<input type="checkbox"/> 今後入院治療することを考えているのか確認する	43	89.6			
<input type="checkbox"/> 家事の状況、家庭内での仕事の役割把握	40	83.3				<input type="checkbox"/> 医療処置(延命処置)に対する本人・家族の意向を確認する	41	85.4			
<input type="checkbox"/> 介護者の親族の介護の意向の把握	36	75.0				<input type="checkbox"/> 本人・家族の意思を尊重する	38	79.2			
<input type="checkbox"/> 親族が利用者の在宅療養にどのように関わっているか	43	89.6									
<input type="checkbox"/> 利用者と家族の関係	40	83.3									
<input type="checkbox"/> 利用者一家族のコミュニケーションの状況	37	77.1									
<input type="checkbox"/> 利用者・家族と他の親族との協力関係	37	77.1									
<input type="checkbox"/> 今後在宅で過ごすのか、入院治療をするのか利用者・家族の意向	44	91.7									
<input type="checkbox"/> キーパーソンの有無	41	85.4									
<input type="checkbox"/> キーパーソンの在宅ケアのイメージ	36	75.0									
<input type="checkbox"/> 延命治療に対する希望の有無	32	66.7									

4. デスマネジメント 死にゆく人と家族が、死を受容できるようになるまでのプロセス(否認、怒り、取引、抑うつ、受容)を成し遂げられるようにマネジメントすること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
□どこで最後を迎えたいかを決めているか	33	68.8
□利用者、家族の死への受け止め方	30	62.5

判断	件数	出現率 (%)
□利用者・家族の死の不安・恐怖	20	41.7
□死の受容プロセス・受容	17	35.4
□死の受容プロセス・否認	5	10.4
□死の受容プロセス・取引	3	6.3
□死の受容プロセス・抑うつ	3	6.3
□死の受容プロセス・怒り	2	4.2

ケア行動	件数	出現率 (%)
□病院及び在宅、両方のパターンの死の迎え方についてどう思っているか把握する	40	83.3
□本人・家族に在宅で生活することの安心感を与える	32	52.1
□死に対する恐怖や不安、どのように受け止めているのか気持ちを引き出す	25	52.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□利用者、家族が不安に思っていることを伝えることができる	40	83.3
□在宅療養に納得できている	40	83.3
□利用者・家族が最後を迎える場所(病院or在宅)をどのように思っているか考えを伝えることができる	30	62.5

5. 心理・精神的援助 ターミナル期にみられる利用者・家族の不安、いらだち、孤独感、おそれ、うつ、怒り、動揺に対してケアチームメンバーが傾聴し、利用者が安心して自分の考え、気持ちが出せるような関係を確立すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
□利用者に対する家族の反応	41	85.4
□利用者家族の精神的負担	41	85.4
□精神状態の観察(言語的、非言語的)	39	81.3
□会話の状態	39	81.3
□家族に対する利用者の反応	38	79.2
□現在まで悔いになっていること、今後不安に感じていること、困っていること、助けて欲しいこと	38	79.2
□痴呆の有無と程度	37	77.1
□在宅療養の中で求めるものや思い	37	77.1
□利用者・家族の言動の解釈はよいか	34	70.8
□利用者・家族の思いを他の医療スタッフが知っているのか	33	68.8
□痴呆を家族はどのように受け止めているか	28	58.3
□うつの有無と程度	13	27.1
□うつを家族はどのように受け止めているか	11	22.9
□利用者・家族の在宅での不安の有無	43	89.6
□利用者・家族が安らかな時間を過ごせているか	37	77.1
□病院では考えられない在宅ケアでしか得られないことはなかったか	29	60.4

判断	件数	出現率 (%)
□効果的なコーピング(本人と家族)・痴呆	28	58.3
□効果的なコーピング(本人と家族)・不安	24	50.0
□効果的なコーピング(本人と家族)・動揺	17	35.4
□効果的なコーピング(本人と家族)・恐れ	12	25.0
□効果的なコーピング(本人と家族)・うつ	10	20.8
□効果的なコーピング(本人と家族)・孤独感	10	20.8
□効果的なコーピング(本人と家族)・苛立ち	9	18.8
□効果的なコーピング(本人と家族)・怒り	5	10.4
□効果的なコーピング(本人と家族)・安らかな時間の確保	32	66.7

ケア行動	件数	出現率 (%)
□利用者・家族それぞれの思いを傾聴できるような関係の確立と環境を整える	39	81.3
□十分に傾聴できる時間をつくる	39	81.3
□利用者家族の思いを引き出し受容する	37	77.1
□誤っている認識については、修正をする	37	77.1
□今までやってこられたことへのねぎらいの言葉かけ	36	75.0
□サービスの目標・方法の統一	30	62.5
□ケアチームカンファレンスの際、利用者・家族の思いを共有する	28	58.3
□家族みずいらずの生活が送れるよう支援する	36	75.0

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□今後どのように過ごしていくかを表現できる	40	83.3
□在宅生活を安心して送る自信がもてる	38	79.2
□医療者間との信頼関係が築ける	36	75.0
□今後どのように過ごしていくかを表現できる	32	66.7
□家族としての十分なコミュニケーションを図れる	36	75.0

6. スピリチュアルイベントへの援助 自己の人生に意味、価値を見いだせること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
□利用者、家族の人格、価値観	42	87.5
□今までの人生をどのように捉えているのか	32	68.7
□利用者、家族の人格、価値観	30	62.5
□利用者、家族の宗教や信念の有無	23	47.9

判断	件数	出現率 (%)
□生きることの目標(生きていくこと・存在していること)の目標(どこか)の消失	27	56.3
□思い出、生きてきた実績、誇りなどの喪失	16	33.3

ケア行動	件数	出現率 (%)
□利用者の人生観を理解する	26	54.2
□利用者・家族の宗教や信念を共有する	22	45.8
□本人の気になること、やり残していることを実現できるように調整する	13	27.1
□利用者・家族の楽しみとみるイベントを準備、調整する	13	27.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□利用者、家族の人格・価値観・人生観が尊重される	34	70.8
□利用者、家族が自分たちらしいままとすることができる	31	64.6
□利用者、家族が備いのない生活を営むことができる	31	64.6

2. 社会的援助 必要なケアが適切に提供されるように、人、物、経済面等の環境づくりを支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 現在利用しているサービスの有無	36	85.7	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービス・本人・家族が希望するサービス	34	81.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族は7チームにどのような期待をしているか確認	38	85.7	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービス・専門職からみた必要なサービス	34	81.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族がどのようなサービスを知っているか(区・市町村、各機関のサービスなど)	27	84.3	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービス・環境衛生は保たれているか	28	86.7
<input type="checkbox"/> 利用者が外出(通院)できるか	16	38.1	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービス・社会資源の活用不足	14	33.3
<input type="checkbox"/> 緊急時の対処方法の理解の確認	36	85.7	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービス・転倒の危険性	12	28.6
<input type="checkbox"/> 7チームの連携状況(急患直通の状況、情報の共有化、意志の統一)確認	36	85.7	<input type="checkbox"/> チームケアの連携体制・緊急時の対応	36	85.7
<input type="checkbox"/> 急変、突発事の対応先の有無	34	81.0	<input type="checkbox"/> チームケアの連携体制・チームの連携ができていない	33	78.6
<input type="checkbox"/> 24時間連絡相談の体制が整っているのか	33	78.6			
<input type="checkbox"/> 具体的な77方法の統一ができているか	33	78.6			
<input type="checkbox"/> 往診医の有無	31	73.8			

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 在宅で必要なサービス・必要物品の選定、調達、準備を利用者の状態に合わせて実施する	39	92.9
<input type="checkbox"/> ケアマネジャーとの連携	41	97.6
<input type="checkbox"/> 今後の在宅療養についてサポートできる範囲を明確に提示する	40	95.2
<input type="checkbox"/> 生活環境整備	34	81
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の個別性の高い期待に沿えるよう利用者・家族とともにケアプランを作成する	29	69
<input type="checkbox"/> 転倒の予防	21	50
<input type="checkbox"/> 訪問看護師、及び医師が緊急連絡の際にすぐ訪問できる体制づくりをする	40	95.2
<input type="checkbox"/> 利用者・家族に24時間体制についての具体的な連絡方法を伝える	37	88.1
<input type="checkbox"/> 傾聴した内容は担当看護師及びチームで共有する	36	85.7
<input type="checkbox"/> 往診医の連絡・必要性の説明	35	83.3
<input type="checkbox"/> 利用者宅へケアノートをおく	28	66.7
<input type="checkbox"/> 負担する金額とすり合わせしながら状態に応じたサービスを導入する	28	66.7
<input type="checkbox"/> ケアチーム内で調整会議をする	24	57.1
<input type="checkbox"/> ケアチーム及び、区・市町村窓口において利用できるサービスを有効活用する	17	40.5
<input type="checkbox"/> 外来受診が負担であれば、往診医に切り替える	16	38.1

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 期待にそったケアを受けている	40	95.2
<input type="checkbox"/> 必要なサービス、必要物品が揃い、身の回りの環境に不自由しない	38	90.5
<input type="checkbox"/> 連携がスムーズで、チームに対する不安がない	38	90.5
<input type="checkbox"/> 新たな外傷、骨折を生じない	29	69
<input type="checkbox"/> 連携がスムーズで、チームに対する不安、不満がない	38	90.5
<input type="checkbox"/> ケアチーム内で必要時連絡がとれる体制を確立できる	38	85.7
<input type="checkbox"/> 緊急時に対する対応が理解でき、在宅で過ごす自信が持てる	36	85.7
<input type="checkbox"/> 経済的負担を最小限にできる	28	66.7
<input type="checkbox"/> 主治医をだれにするのか意志を伝えることができる	21	50

3. 家族・親族の関係調整 本人を中心とした家族関係の変化に応じて、ケアの方向性およびどのような最後を迎えるか意識を統一すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態	41	97.6
<input type="checkbox"/> 介護負担の状況	40	95.2
<input type="checkbox"/> 介護者の体力	38	90.5
<input type="checkbox"/> 介護者が夜間良眠できているか	36	85.7
<input type="checkbox"/> 家族・親族・近隣の協力者の具体的な介護協力	35	83.3
<input type="checkbox"/> 介護者の理解力	33	78.6
<input type="checkbox"/> 介護者の介護技術	33	78.6
<input type="checkbox"/> 家事の状況、家庭内での仕事の役割把握	31	73.8
<input type="checkbox"/> 介護者の有無	30	71.4
<input type="checkbox"/> 介護者の親族の介護の意向の把握	30	71.4
<input type="checkbox"/> 利用者—家族のコミュニケーションの状況	33	78.6
<input type="checkbox"/> 親族が利用者の在宅療養にどのような関わっているか	33	78.6
<input type="checkbox"/> 利用者と家族の関係	31	73.8
<input type="checkbox"/> 利用者 家族と他の親族との協力関係	30	71.4
<input type="checkbox"/> 身体面で過ごすのか、入院治療をするのか利用者・家族の意向	36	85.7
<input type="checkbox"/> キーパーソンの有無	32	76.2
<input type="checkbox"/> 延命治療に対する希望の有無	31	73.8
<input type="checkbox"/> キーパーソンの在宅ケアのイメージ	30	71.4

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 家族介護力・介護体制・介護負担感	31	73.8
<input type="checkbox"/> 家族介護力・介護体制・介護知識の不足	20	47.6
<input type="checkbox"/> 家族介護力・介護体制・介護拒否	8	19
<input type="checkbox"/> 家族成員としての役割変化	15	47.6
<input type="checkbox"/> 本人・家族・親族のコミュニケーション	9	21.4
<input type="checkbox"/> 利用者・キーパーソンの在宅療養の意見の一致	25	59.5
<input type="checkbox"/> 何もして欲しくない	23	54.8
<input type="checkbox"/> 意思決定ができていない	8	19
<input type="checkbox"/> 延命処置の希望	2	4.8

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 在宅ケアを継続していくことの思いを支援する	39	92.9
<input type="checkbox"/> 介護者の介護力を見極め、無理のない介護方法の把握・調整をする	37	88.1
<input type="checkbox"/> 傾聴した内容は担当看護師及びチームで共有する	37	88.1
<input type="checkbox"/> 介護者の健康状態をチェックする(バイタルサイン測定など)	35	83.3
<input type="checkbox"/> 介護代替者の検討	19	45.2
<input type="checkbox"/> 利用者・家族と他の親族との関係を調整する	25	59.5
<input type="checkbox"/> 他の家族との関係が修復できるよう関わる	13	31
<input type="checkbox"/> 本人・家族の意思を尊重する	40	95.2
<input type="checkbox"/> 今後入院治療することを考えているのか確認する	36	85.7
<input type="checkbox"/> 延命処置(延命処置)に対する本人・家族の意向を確認する	35	83.3

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> キーパーソンを中心に在宅療養ができる	39	92.9
<input type="checkbox"/> 介護者が在宅療養を継続できる自信がもてる	36	85.7
<input type="checkbox"/> 介護負担感が軽減できる	33	78.6
<input type="checkbox"/> 心理負担がない	32	76.2
<input type="checkbox"/> 他者による介護の導入に慣れる	30	71.4
<input type="checkbox"/> 本人、家族、親族内の人間関係を把握できる	30	71.4
<input type="checkbox"/> 本人および家族、親族内で在宅ケアをどのように継続していくかをイメージできる	38	90.5

4. デスマネジメント 死にゆく人と家族が死を受容できるようになるまでのプロセス(容認、怒り、取り、抑うつ、受容)を成し遂げられるようにマネジメントすること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> どこで最後を迎えたいかを決めて いるか	36	85.7
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の死への受け止め方	33	78.6

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の不安・恐怖	21	50
<input type="checkbox"/> 死の受容プロセス・受容	19	45.2
<input type="checkbox"/> 死の受容プロセス・否認	7	16.7
<input type="checkbox"/> 死の受容プロセス・抑うつ	6	14.3
<input type="checkbox"/> 死の受容プロセス・怒り	2	4.8
<input type="checkbox"/> 死の受容プロセス・取引	2	4.8

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 本人、家族に在宅で生活することの安心感 を与える	39	92.9
<input type="checkbox"/> 病院及び在宅、両方のパターンでの死の迎 え方についてどう思っているか把握する	30	71.4
<input type="checkbox"/> 死に対する恐怖や不安、どのように受け止 めているのか気持ちを引き出す	27	64.3

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 在宅療養に納得できている	38	90.5
<input type="checkbox"/> 利用者、家族が最後を迎える場所 (病院or在宅)を伝えることができる	31	73.8
<input type="checkbox"/> 利用者、家族が不安なく死を受容 できる	21	50

5. 心理・精神援助 ターミナル期にみられる利用者・家族の不安、いらだち、孤独感、おそれ、うつ、怒り、動揺に対して自分の考え、気持ちを表出できるような関係を確立すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者に対する家族の反応	36	85.7
<input type="checkbox"/> 利用者家族の精神的負担	33	78.6
<input type="checkbox"/> 精神状態の観察(言語的、非言語的)	30	71.4
<input type="checkbox"/> 家族に対する利用者の反応	29	69
<input type="checkbox"/> 在宅療養の中で求めるものや思い	29	69
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の思いを他の医療スタッフが知っているのか	29	69
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の言動の解釈はよいか	27	64.3
<input type="checkbox"/> 会話の状態	26	61.9
<input type="checkbox"/> 悩みを家族はどのように受け止めているか	25	59.5
<input type="checkbox"/> 現在まで抱いていること、今後不安に感じていること	24	57.1
<input type="checkbox"/> うつの有無と程度	12	28.6
<input type="checkbox"/> うつを家族はどのように受け止めているか	7	16.7
<input type="checkbox"/> 利用者、家族の在宅での不安の有無	32	76.2
<input type="checkbox"/> 利用者、家族が安らかな時間を過ごせているか	31	73.8
<input type="checkbox"/> 病院では考えられない在宅ケアでしか得られないことばなかったか	23	54.8

判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・孤独	19	45.2
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・不安	19	45.2
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・動揺	13	31
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・恐れ	11	26.2
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・苛立ち	10	23.8
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・うつ	8	19
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・孤独感	8	19
<input type="checkbox"/> 効果的なコーピング(本人と家族)・怒り	5	11.9
<input type="checkbox"/> 安らかな時間の確保	30	71.4

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 利用者家族の思いを引き出し受容する	38	90.5
<input type="checkbox"/> 今までやってこられたことへのねぎらいの言葉かけ	36	85.7
<input type="checkbox"/> サービスの目標、方法の統一	36	85.7
<input type="checkbox"/> 利用者・家族それぞれを傾聴できるような関係の確立と整理を促える	34	81
<input type="checkbox"/> 十分に傾聴できる時間をつくる	32	76.2
<input type="checkbox"/> ケアチームカンファレンスの際、利用者・家族の思いを共有する	30	71.4
<input type="checkbox"/> 誤っている認識については、修正をする	24	57.1
<input type="checkbox"/> 家族みずいらずの生活が送れるよう支援する	33	78.6

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 医療者間との信頼関係が築ける	37	88.1
<input type="checkbox"/> ケアチームとして利用者、家族を支援できる	35	83.3
<input type="checkbox"/> 在宅生活を安心して送る自信がもてる	32	76.2
<input type="checkbox"/> 今後どのようにつながっていくかを表現できる	31	73.8
<input type="checkbox"/> 家族としての十分なコミュニケーションを図れる	30	71.4

6. スピリチュアルペインへの援助 自己の人生に意味・価値を感じたいと思えること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)
□利用者、家族の人格・価値観	36	85.7
□今までの人生をどのように捉えているのか	29	69
□利用者、家族が抱いていることはあるのか	27	64.3

判断	件数	出現率 (%)
□思い出、生きてきた業績、誇りなどの喪失	7	46.7
□生きることに目標(生きていくこと・存在していること)の目標はどこかの消失	14	33.3

ケア行動	件数	出現率 (%)
□利用者の人生観を理解する	27	64.3
□利用者・家族の宗教や信念を共有する	20	47.8
□本人の気になること、やり残していることを実行する	12	28.8

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
□利用者・家族の人格・価値観・人生観が尊重される	30	71.4
□利用者・家族が抱いていない生活を営むことができる	28	66.7
□利用者、家族が自分たらしめをまっとうできる	27	64.3

2. 社会的援助 必要なケアが適切に提供されるように、人、物、経済面等の環境づくりを支援すること

アセスメント内容	件数	出現率 (%)	判断	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 現在利用しているサービスの有無	35	71.4	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービスの活用	24	49.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族はケアチームにどのような期待をしているか確認	35	71.4	<input type="checkbox"/> 在宅における必要なサービスの活用 <input type="checkbox"/> 介護の必要性	9	18.4
<input type="checkbox"/> 介護認定再調査の必要性の有無	17	34.7	<input type="checkbox"/> 終末期にあわせ必要サービス・ケアチームの連携の不足はないか	34	69.4
<input type="checkbox"/> 終末期に向けた福祉機器、介護用品の選定がなされているか(吸引器、吸込器)	37	75.5	<input type="checkbox"/> 終末期にあわせ必要サービス・利用する機器は選択できているか	29	59.2
<input type="checkbox"/> 終末期に向けたケアチームの連携の構築はどうか	37	75.5	<input type="checkbox"/> 緊急時の対応	48	98.0
<input type="checkbox"/> 急変、突発事象の対応先の有無	49	100.0	<input type="checkbox"/> 緊急時(24時間)連絡体制	41	83.7
<input type="checkbox"/> 24時間連絡相談の体制が整っているのか	48	98.0	<input type="checkbox"/> チームケアの連携体制	29	59.2
<input type="checkbox"/> 緊急時の対応方法の理解の確認	48	98.0			
<input type="checkbox"/> ケアチームの連携状況(意思疎通の状況、情報の共有化、意思の統一)確認	43	87.8			
<input type="checkbox"/> 具体的なケア方法の統一ができているか	41	83.7			
<input type="checkbox"/> ケアマネジャーを中心としたケアプランを他職種で共有しているか	35	71.4			

ケア行動	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 在宅で必要なサービス、必要物品の選定、調達、準備を利用者の状態に合わせて実施する	45	91.8
<input type="checkbox"/> ケアマネジャーとの連携	45	91.8
<input type="checkbox"/> 今後の在宅療養についてサポートできる範囲を明確に提示する	41	83.7
<input type="checkbox"/> 利用者・家族の個別性の高い期待に沿えるようケアプランを作成する	39	79.6
<input type="checkbox"/> 終末期に向けたサービスに変更をする	36	73.5
<input type="checkbox"/> 訪問看護師、及び医師が緊急連絡の際にすぐ訪問できる体制づくりをする	48	98.0
<input type="checkbox"/> 住診医への連絡・いない場合は住診医を必ず導入する	48	98.0
<input type="checkbox"/> 利用者・家族に24時間体制についての具体的な連絡方法を伝える	39	79.6
<input type="checkbox"/> 利用者宅へケアノートをおく	35	71.4
<input type="checkbox"/> ケアチーム内で調整会議をする	32	65.3
<input type="checkbox"/> 構築した内容は担当看護師及びチームで共有する	27	55.1
<input type="checkbox"/> ケアチーム及び、区・市町村窓口において利用できるサービスを活用する	19	38.8

アウトカム(期待される成果)	件数	出現率 (%)
<input type="checkbox"/> 必要なサービス、必要物品が揃い、身の回りの環境に不自由しない	41	83.7
<input type="checkbox"/> 連携がスムーズで、チームに対する不安がない	41	83.7
<input type="checkbox"/> 利用者・家族は期待にそったケアを受けている	40	81.6
<input type="checkbox"/> 医療機器や処置方法を本人・家族で選択し決定することができる	34	69.4
<input type="checkbox"/> 連携がスムーズで、チームに対する不安、不満がない	47	95.9
<input type="checkbox"/> ケアチーム内で必要時連絡がとれる体制を確立できる	44	89.8
<input type="checkbox"/> 緊急時に対する対応が理解でき、在宅での看取りの体制が確立できる	43	87.8
<input type="checkbox"/> 経済的負担を最小限にできる	32	65.3